



新選憲法秘録

一

73
3350
1



門ヲ係 3
番 3.950

新選憲法秘録

目録



新選憲法秘録 上

目録

故校友早川早治氏遺愛記

一 取斗部

- 一 六月以ておのれ公事以て作れし事
- 二 浦須河書小山下知事より申上りし事
- 三 忠孝のの古捕し者新用しりし事
- 四 打及人正右新用しりし事
- 五 因人本陣止るる事
- 六 陸道人物人し事
- 七 走人旅人止るる事
- 八 尚書部力部し事

九 新成祠佛像信止
 十 盲人之事
 十一 宮門跡
 十二 市能寺改風
 十三 石代河
 十四 市能寺内物
 十五 石代宮
 十六 浮島河
 十七 唐新羅
 十八 通申
 十九 持洲

廿 多公人
 廿一 持洲
 廿二 田
 廿三 越
 廿四 山
 廿五 流
 廿六 御
 廿七 宮
 廿八 切

一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...

一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...

一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...
一 丁内は...

一 丁内は...
一 丁内は...

予統故不親其子世成其方乃正其分也
勿為名也呼初一水信也其女上之書一水牛大月凡
一

石自之其方在第二橋其書一水成其分也
一

物多而水信入日三季信不中一水信也物有物
人子主則之其命也物別也其分也其分也其分也
右有是也其分也

美土月

仔 物有也
小 日向也
牧 右隅也

女 信也
石 信也

一 山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

一 山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

山崎村の南にありて

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景
之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

政保

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

原之邊及小田所接標之能即西之在亦小田好景

之別標也其記云云

三石山寺記
寺在石山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山

三石山寺記

寺在石山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山

寺在石山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山

三石山寺記

寺在石山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山
寺之東山寺之東山

下... 卷... 第... 頁... 一

一 日本... 卷... 第... 頁... 一

文... 卷... 第... 頁... 一

伊... 卷... 第... 頁... 一

伊... 卷... 第... 頁... 一

十 日本... 卷... 第... 頁... 一

伊... 卷... 第... 頁... 一

竹田之石室の土葬同様に人の遺骸を埋めたる事
を知りし事

一
平林少能平寺院系社系少楊を以てしりたる事
跡は其の如く之を以てしりたる事と云ふ事
其の如く神降月と云ふ事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く連名に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事

一
神皇正統記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事

一
又其の如く古事記に記されたる事と云ふ事

一
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事

一
其の如く古事記に記されたる事と云ふ事

今日本國領事官
ハルカニシテ
ハルカニシテ
ハルカニシテ
ハルカニシテ

四月

ハルカニシテ
ハルカニシテ

一 唐の海路

唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、

唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、

一 唐の海路

唐の海路は、

唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、
唐の海路は、

又合之有也

予自入京以來。凡所見者。無不稱其美。然予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。

又合之有也

又合之有也

予自入京以來。凡所見者。無不稱其美。然予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。予之所見。亦不過其一二而已。其餘則未之見也。

万回... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...

成... 月

何... 所

若... 所... 部... 之... 友

在... 方... 非... 也... 矣

上... 亦... 公... 事... 中... 之... 所

有... 亦... 所... 也

不... 亦... 利... 也... 也

万... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...
万... 心... 万... 心... 万... 心...

或... 心... 万... 心... 万... 心...
或... 心... 万... 心... 万... 心...
或... 心... 万... 心... 万... 心...
或... 心... 万... 心... 万... 心...

若... 月

事... 人... 亦... 心... 万... 心...
事... 人... 亦... 心... 万... 心...
事... 人... 亦... 心... 万... 心...
事... 人... 亦... 心... 万... 心...

若... 月... 亦... 心... 万... 心...
若... 月... 亦... 心... 万... 心...
若... 月... 亦... 心... 万... 心...
若... 月... 亦... 心... 万... 心...

此例... (Faint handwritten text in vertical columns)

時... (Faint handwritten text)

一^{廿二} 竹印在口皮 竹更形在命海...

元印在命海...

口更在命海...

新印在命海...

竹印在命海...

此... (Faint handwritten text)

此... (Faint handwritten text)

此... (Faint handwritten text)

此... (Faint handwritten text)

四知

書曰一子所行其善惡也必由其心
其心善則行善其心惡則行惡
故曰一子所行其善惡也必由其心

一

夫所謂善者非謂其行善也
而謂其心善也夫所謂惡者
非謂其行惡也而謂其心惡也
故曰一子所行其善惡也必由其心

天德之生民也
言存心與行

心善則行善
心惡則行惡

一

揚子曰夫君子之行也
必先其心而後其行也
故曰一子所行其善惡也必由其心
夫所謂善者非謂其行善也
而謂其心善也夫所謂惡者
非謂其行惡也而謂其心惡也
故曰一子所行其善惡也必由其心

一

君子之修身也
必先其心而後其行也
故曰一子所行其善惡也必由其心

一

君子之修身也
必先其心而後其行也
故曰一子所行其善惡也必由其心

若乃... 德... 仁... 社... 二...

五七
流... 移... 此... 再... 自...

高... 流... 人... 只...

六六
一... 文... 是... 桃...

予嘗聞之於先師曰夫道之於世猶水之於木也木無水則枯道無師則廢故君子必先求師然後求道也夫師之於人猶水之於魚也魚無水則死人無師則亡故君子必先求師然後求道也

夫道之於世猶水之於木也木無水則枯道無師則廢故君子必先求師然後求道也夫師之於人猶水之於魚也魚無水則死人無師則亡故君子必先求師然後求道也

一

夫道之於世猶水之於木也木無水則枯道無師則廢故君子必先求師然後求道也夫師之於人猶水之於魚也魚無水則死人無師則亡故君子必先求師然後求道也

本九

一 宮門

夫道之於世猶水之於木也木無水則枯道無師則廢故君子必先求師然後求道也夫師之於人猶水之於魚也魚無水則死人無師則亡故君子必先求師然後求道也

予為承記年平一... 如令門... 其受所... 此初... 佃... 下... 了... 可... 此... 修... 个...

公... 并... 乃... 院...

育

文... 初...

其... 个... 一... 向...

平戸町内

一 惣火の取次し事

十日

小岡松町

七日

十間口

十間口

五日

小岡松町

十間口

惣火の取次し事

一 惣火の取次し事

惣火の取次し事

惣火の取次し事

惣火の取次し事

惣火の取次し事

惣火

惣火の取次し事

惣火

惣火の取次し事

惣火

惣火の取次し事

惣火

惣火の取次し事

惣火の取次し事

一 惣火の取次し事

文政七年三月... 海軍の物語

五府の官... 御... 海軍の物語

海軍の物語

海軍の物語

海軍の物語

海軍の物語

海軍の物語

海軍の物語

前記の通り能く申す事なく
別記の通り申す事なく
月島中津屋

申す事なく

石門中津屋

右記の通り

右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく
右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく
右記の通り申す事なく

二十一日

右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく
右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく
右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく
右記の通り申す事なく
左記の通り申す事なく

伊勢平

吉向後... 系同... 守社... 古... 延... 同... 延... 同... 延...

文政七年一月

關東... 守社... 延...

守社... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延...

守社... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延...

守社... 延...

文政七年一月

下知札書板

守社... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延... 同... 延...

丁巳年...

三十一

一 拾河...

...

...

...

...

...

...

三月海... 東海... 拾河... 丁巳年...

一

...

...

...

...

二月

東京伊豫守

足利正任の返

平目御返の旨に如紙様御返に相成り申上り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り

二月廿

東京伊豫守

別段に候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り

一

大斗の御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り

二月廿

建礼案

正月廿の御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り

二月廿

或則七日の御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り
申上り候御返に候はれども、先般に御返に相成り

建礼案

石室仙傳... 申月

天... 申月

山... 申月

...

一
... 申月

...

山...

... 申月

申月

...

申月

...

此書の因入... 申八月

申八月

早六

一 焼死の由り

一 相州吉田村...

年... 幸... 子... 母... 父...

野... 川... 乃... 以... 活... 十... 秋... 文... 古...

書... 市...

福子村... 北地... 福子村... 北地... 福子村... 北地...

石室... 福子村... 北地... 福子村... 北地...

辛巳

一 信宗... 福子村... 北地...

以和... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地...

二月

辛巳

一 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

信宗... 福子村... 北地... 信宗... 福子村... 北地...

此乃字乃... 作...

此乃...

盲人... 是...

在... 是...

有... 在... 授... 之... 故... 之... 而... 盲... 人... 界... 在...
像... 小... 沙... 信... 宗... 行... 之... 佛... 教... 之... 本... 體... 也...
市... 所... 之... 信... 宗... 師... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也...
家... 無... 所... 不... 有... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也...
年... 中... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也...
遠... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也...
此... 乃... 字... 乃... 作...

授... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也... 凡... 佛... 教... 之... 旨... 意... 也...
石... 乃... 字... 乃... 作...

成育

憲法秘録

Handwritten text at the top of the right page, possibly a title or header.

Main body of handwritten text on the right page, consisting of several lines of cursive script.

The left page of the manuscript is mostly blank, with some faint, illegible markings or bleed-through from the reverse side.

